



2024年6月

UBPのご紹介



UNION BANCAIRE PRIVÉE



FACING THE FUTURE

*“Long-term commitment to our clients is the cornerstone of our strategy.”*

Edgar de Picciotto, Founder of UBP

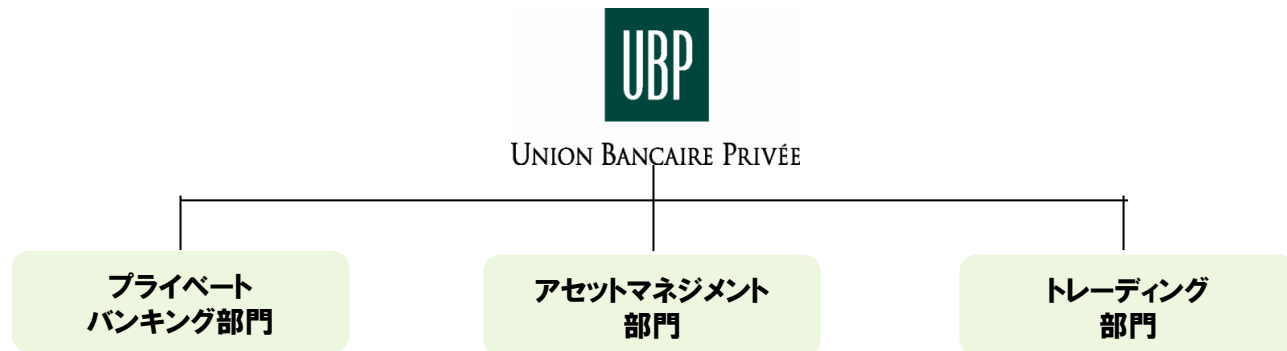
**顧客への長期コミットメントが資産運用ビジネスの根幹である**



UNION BANCAIRE PRIVÉE

## UBP ユニオン・バンカール・プリヴェ

- ◆ スイスのジュネーブを本拠とするプライベートバンク
- ◆ 資産運用サービスの提供に特化
- ◆ デ・ピチョット・ファミリーによるオーナー企業（非上場）
- ◆ 富裕層向けから派生し、機関投資家向け戦略の提供へと拡大
- ◆ 外部マネジャーとの提携により、多様な商品ラインナップをそろえる



※UBPとその子会社、および支店は、連結ベースでSwiss Federal Banking Commission(スイス連邦銀行委員会)の監督下にあります。資産運用専門の銀行のため、投資銀行業務や自己勘定取引を一切行っておりません。

# UBPの概要

2023年12月末時点

## 運用資産額



CHF **140.0**<sub>BN</sub>  
約23.5兆円

## 自己資本比率



**28.9** %

## 従業員数



**2,094**名

## グローバル・ネットワーク



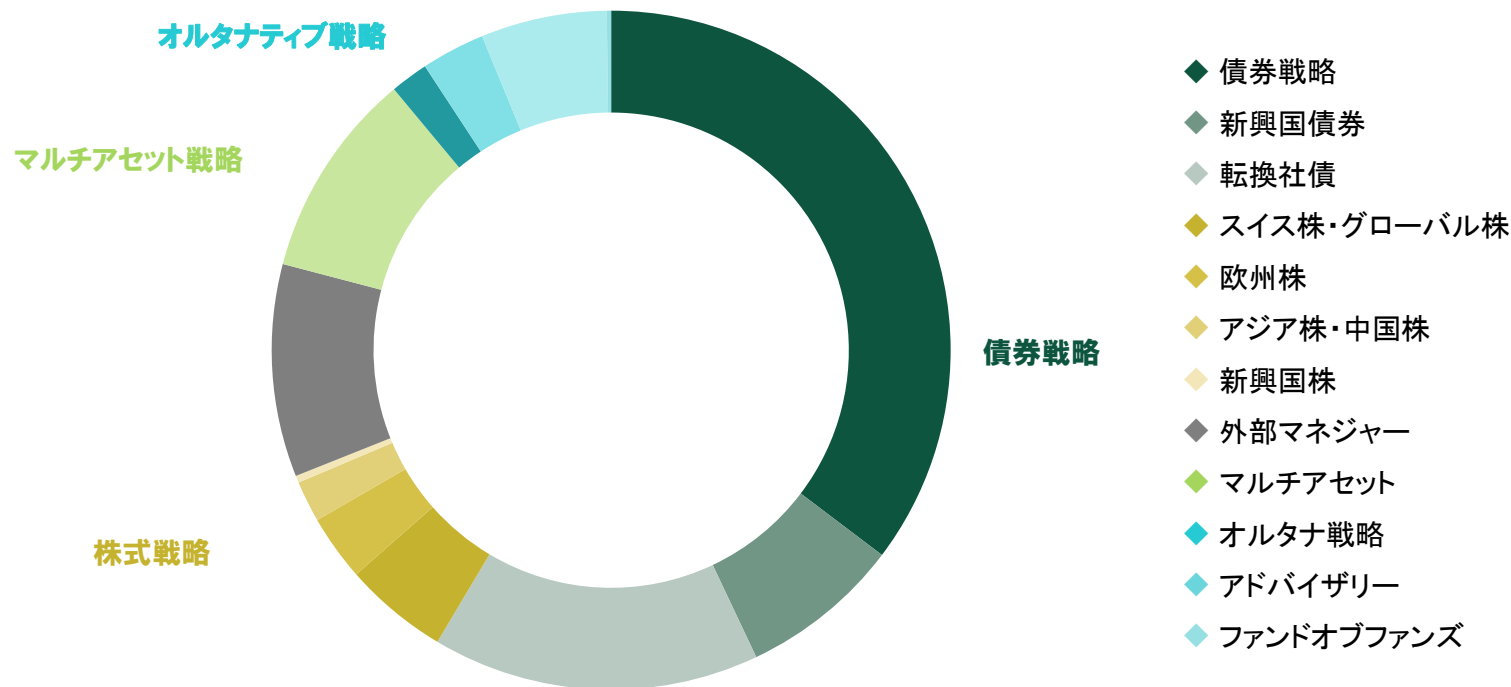
**26**拠点

# UBPの沿革

長期に亘り独立性を維持した歴史と実績

- ◆ 1969年 エドガー・デ・ピチョットによりスイス・ジュネーブに設立
- ◆ 1972年 ヘッジファンドへの投資を開始
- ◆ 1986年 最初のファンド・オブ・ヘッジファンズ「ディンベスト」運用開始  
創業者エドガー・デ・ピチョットは1980年代からジョージ・ソロスのファンドのアドバイザーボードに名を連ねる等、ヘッジファンド黎明期から業界と深い関係を持つ。
- ◆ 1990年 アメリカン・エクスプレス・バンクの買収
- ◆ 1995年 カスタマイズ・ファンド・オブ・ヘッジファンズの運用開始
- ◆ 2002年 ロングオンリーのファンド・オブ・ファンズの運用を開始
- ◆ 2008年 ファンド・オブ・ヘッジファンズの運用残高、世界第1位に
- ◆ 2011年 ABNアムロ銀行(スイス)AGを買収
- ◆ 2012年 Nexar Capital Groupを買収
- ◆ 2013年 ロイズ・バンキング・グループのプライベートバンキング部門を買収
- ◆ 2014年 UCITSプラットフォームの運用開始
- ◆ 2015年 ロイヤルバンク・オブ・スコットランド傘下のインターナショナル・プライベートバンキング及びウェルスマネジメントの国際事業部門を買収
- ◆ 2018年-2019年 ACPIインベストメンツとバンク・カーネギー・ルクセンブルグを買収
- ◆ 2021年 ダンスケ銀行傘下のルクセンブルグのウェルスマネジメント部門を買収
- ◆ 2023年 エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社を買収

## 顧客ニーズに応じた運用戦略ラインナップ



# UBPインベストメンツ株式会社

## 概要

設立	2005年 10月 5日	代表取締役社長	富永 逸朗
登録	2007年 9月30日 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第192号	役員及び社員数	22名(社外取締役1名と監査役1名を含む)
	2008年 5月21日 投資運用業	資本金	2億7千5百万円 ※UBP100%出資の子会社
	2010年 3月29日 投資助言・代理業	加入協会	一般社団法人 投資信託協会
	2019年 11月19日 第二種金融商品取引業		一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
			一般社団法人 日本投資顧問業協会

## 主な事業内容:

当社はジュネーブに本拠を置く資産運用専門の銀行UBP(ユニオン・バンカール・プリヴェ)の日本拠点として、日本国内の投資家の皆様にオルタナティブや伝統的資産の投資・運用サービスをご提供しております。

投資一任契約に係る運用残高 約565億円(2024年5月末時点)

投資一任契約に係る附随業務残高(情報提供等) 約5,411億円(2024年5月末時点)

# ご注意事項

金融商品取引業者の商号：UBPインベストメンツ株式会社  
当社は、投資助言・代理業、投資運用業及び第二種金融商品取引業を行う金融商品取引業者です。  
登録番号 関東財務局長(金商)第192号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員 第012-02386号  
一般社団法人 投資信託協会会員 投信協2第104号  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員 二種業協第613号

## 投資顧問契約及び投資一任契約の対価とリスクについて

### 1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約及び投資一任契約に係るサービスに対する年間報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。

投資一任契約に係る報酬以外に組入れ有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオ維持のために発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの手数料等の種類ごとの金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法の概要及び当該金額の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法の概要については、お客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)が決定するものであるため、また契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

### 2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させていただきますが、対象とする金融商品及び金融派生商品(デリバティブ取引等)は、様々な指標等の変動の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。



## ご注意事項

- ◆ 当資料は、当社または当社の投資対象となり得る運用会社の投資方針、投資態度、投資哲学、及び運用会社の実績、経験、組織、リスク管理体制等に関する情報提供を目的としたものです。
- ◆ 当資料に個別の有価証券、銘柄、企業名等について記載されている場合がありますが、あくまでも参考として述べたものであり、特定の金融商品等の投資勧誘または売買等を目的としたものではありません。
- ◆ 当資料内の記述、グラフ・表・数値データ等の内容につきましては、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、当社が必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆ 過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。また当資料に運用実績に代えてシミュレーション結果が記載されている場合がありますが、シミュレーション結果も将来の運用成果等を保証するものではありません。
- ◆ 当資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社または資料作成会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- ◆ 当資料に記載されている内容はすでに変更されている場合があります、また予告なく変更される場合があります。
- ◆ 最終的な投資の意思決定は、契約締結前交付書面等をよくお読みのうえ、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- ◆ 当資料の一部または全部について、当社の事前の承認なく、使用、複製、転用、配布及び第三者へ開示する等の行為はご遠慮ください。